

臨床研究のお知らせ

研究課題名：

「アルツハイマー型認知症患者におけるリバスタッチグミン貼付製剤による副作用発現の実態調査に関する研究」

1.研究内容

2011年7月より、国内において、アルツハイマー型認知症の患者さんに対して、認知症の症状進行を遅らせることを目的に「リバスタッチパッチ・イクセロンパッチ」という貼り薬が使用できるようになりました。

しかしながら、リバスタッチパッチ・イクセロンパッチを貼付した部位に、かゆみ、発疹、皮膚炎などの皮膚症状が起こることにより、お薬を有効な量へ調節することができないことや継続的に使用できないことがあります。

そこで、我々は、保険薬局の薬剤指導記録の情報をもとに、これまでに、このお薬が使用された患者さんにおいて、皮膚症状や重大な副作用が出ていないかを明らかにすることを目的に調査研究を行います。

2.対象

2011年7月1日～2014年3月1日までの期間中に、ささゆり薬局土岐店にて、リバスタッチパッチ・イクセロンパッチが開始された患者さんが対象となります。

3.研究の方法について

保険薬局の薬剤指導記録の情報をもとに調査を行い、リバスタッチパッチ・イクセロンパッチを使用時に皮膚症状や重大な副作用が出ていないかを調査します。ただし、氏名や住所のような個人が特定できる情報収集は行いません。

今回の研究で得られた調査結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、対象となる方の個人情報などプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

2014年8月

愛知学院大学薬学部 臨床薬剤学講座

研究実施責任者 山村恵子

住所 〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

電話 052-757-6766

